(1)	昭和32年7月1E	· 前	橋	市廣		1	AV 1 1 0 18
			3	市を必ず一小うの美に満在する	慶 院、共活組合から推さんする理 「大から十五人」にひろけ、各 は十人から十五人」にひろけ、各	キュー目する 素した。本市ではこの標準に売りいるしたになりました。 なから、全部が四十名の素良を差することになりました。 なったこし、その運化を注かられることになりました。 して、本市ではこの標準に完美の十金良美を一つに総合し、 なから、全部が四十名の素良を差することになりました。 二部會と事務局新設 二部會と事務局新設	#142號
今月の納税	文 华	● 本方が馬馬に関する事項に 一次にて着見の小麦、石飯万に細 本市ではり上の形正 一般事業員会の人表、石飯万に細 人 一般事業員会の人表、石飯万に細 し、 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般	いもう及び宣伝 福田 一部のの次言に掲する事項の 日本語に関する調査及び研究、は 昭二	の合理化及び農民定活	媵	私蔵 その声音の美 で	來る十六日本
1110号を指上するのの) 町部第二期の結別です。さなた い。(総管部定政課・収扱課) い。(総管部定政課・収扱課)	日(王四日)	大大同勝久臣		理測を回り農業務官の合同業を回り農業務官の合	立候和庭井	續 清 <u></u> 乙 名 兰 崔	日委員四十名も
「 有町、 補町、 補助町、 土田町町、 工 工 工 定 に か で 一 力 た で 一 力 た で 一 力 た で 一 力 た い つ 、 に 大 大 人 ク タ に 、 一 前 二 一 和 二 石 大 へ ク タ に 、 一 前 二 一 前 二 一 前 二 一 前 二 一 前 二 一 前 二 一 前 二 一 一 前 二 一 一 二 二 一 一 二 二 一 一 二 二 一 一 二 二 一 一 二 二 一 一 二 二 一 一 二 一 一 二 一 一 二 一 一 二 一 一 二 一 一 二 一 一 二 一 一 二 一 一 二 一 一 二 一 一 二 一 一 二 一 一 二 一 一 二 一 一 二 一 一 二 一 一 二 一 一 一 二 一 一 二 一 一 一 一 一 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		O Z M M - Y Y		にをさ有で悪いる悪	山となるの観台の変な観日のの男性の代理投票などの生またを準用を受けていた。	言他醫学能で震いと	を選擧
X		(前機範疇美貨与契約結局について (前機範疇美貨与契約結局係) (前機範疇美貨与契約結局係) (前機範疇美貨与契約結局係) の委員の完整信回十人とするも の委員の完整信回十人とするも の委員の完整信回十人とするも	事務所は候補者1人に 会する他の通行者に貸	and the second second	業行七月十五日までで市役所匠務 の一派行する必要があるときは不 たる投票もできます。 (不在名型) におい見務のため本市の区域行 になったる本市の区域行 になったる本市の区域行 になったる本市の区域行 になった。 (本名型) になった。 (本名型) になった。 (本名型) (本名) (本名型) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名	にのまま、準用されますので、 たのまま、準用されますので、 のます。(居尻は午前八時三十分 の日から近季期日前五日まで馬 の日から近季期日前五日まで馬 に った候福の届世は選季期日告 の日から近季期日前五日まで馬 に ったに のます。(居尻は午前八時三十分 のます。) のます。(居尻は午前八時三十分	に、ます。 に、ます。 たのもので一定美口上の 産地 を制作の実務を営む者長びそ き耕作の実務を営む者長びそ き耕作の実務を営む者長びそ
見会素品」を「 農会素品」を「 」を、 などのるもの		▽同常七六号 - 前種市轄自定数条 (内原地主事主人)、その他の職員二人計四人」を その他の職員二人計四人」を その他の職員「香油二人」を	て(熊業委員会関係) 長)を譲 て(熊業委員会関係) 長)を譲 て	すから実施調査の際には言さん方の 力しておりますが、今回素しい評価 国気資産税の裏窓の基本となる、土 万しておりました。これ			のいて二ケ所設置することができ」ら、不明空 ことになつています。その位遷等 します。 ひは農業の します。
当のため陰障不動震墜入資金及当のため陰障不動震墜入資金として、陰障不動震墜入資金として、陰障不動震撃入資金から金二千三百十 金二千万円以内を強入しまうとするもの)		でについて でについて でについて でについて でについて	(任するもの)	すから実施調査の際には言さん方の資産的な御屋力がなければ達成できませんので倍員が何いましたを実施することにならました。これから行う気度の評価も適正な評価による認識を行うことが目的でかしておりますが、今回新しい評価基準に基美、面では六月十五日から十一月末日まで、実展の評価国気資産忍の連殺の基本となる、主能、実展情知資産の評価については常に公平なる評価の実施に努固定資産忍の連殺の基本となる、主能、実展情知資産の評価については常に公平なる評価の実施に努固定資産忍の連殺の基本となる、主能、実展情知資産の評価については常に公平なる評価の実施に努用の支援、の人工の人、	の實地	区、	ら、不明の点は市通業管理委員会 します。 (市理業官組委員会)
(前欄市美利条例第八条の起定) により市立是小学校培養ない 調査が修繕)新築工事の展約を構 たより市立是小学校培養ない 調査が修繕)新築工事の限約を構 により市立是小学校培養ない により市立是小学校培養ない により市立是小学校培養ない により市立是小学校培養ない により市立是小学校培養ない により市立是小学校培養ない により市立是小学校培養ない により市立是小学校培養ない により市立是小学校培養ない により市立是小学校培養ない により市立是小学校培養ない により市立是小学校培養ない により市立是小学校培養ない により市立是小学校培養ない により市立是小学校培養ない により市立是小学校培養ない により市立是小学校培養ない により市立と、 により市立と、 により市立と、 により市立と、 により市立と、 により市立と、 により市立と、 により市立と、 により市立と、 により市立と、 により市立と、 により市立と、 により市立と、 により市立と、 により市立と、 により市立と、 により市立と、 により市立と、 により、 に に に に に に に に に に に に に	And the first of the second state of the second	(同量工金を育防施設置に充て るため昭和三十二年度において 金五百七十万円を利率右分で社 間差八全国市有物件災害共活会 から借入れ運用するもの) 欄市才入才出資用昭和三十二年度前 欄市才入才出資用昭和三十二年度前	て售 —		を調学		離 和 子小学校 調堂 一定 総 社 小学校 演堂 第 二 総 社 出 保 町 介 二 総 総 十 小学校 清 堂 第 二 第 総 十 小学校 清 二 第 第 二 の 第 二 の 第 二 の 第 二 の 二 の 第 二 の 一 の 二 の の 一 の の 一 の の 一 の の 一 の の 一 の の の の
たので離告して、ためで離告して、	17月1 平理百余三号「夏法処分 平理百余三号「夏法処分 二部更正について、夏 二部更正について、夏	種公営住宅(簡易耐火 種公営住宅(簡易耐火 町までの累計報士信一 回までの累計報士信一 「七百七十七円、造面互正 百七十七円、造面互正	(四階) (建設部)○開席九二号『美約結結	◇検閲協所市役所建設 今検閲協同 七月一日か きでの一週間	もに左のとおり経営に進		東出張所区域 一円 元総社出張所区域 一円 二総社出張所区域 一円 当前一部憲書町、青綱町 七副井町、下副井町、北代田 日輪売町、川嶋町、田口町、 北田町、記鑑書町、北代田



昭和32年7月1日	前横市月	医 戰役 (領別一日	1十五日發行) 第142號 (2)
	以降は次軍に減少するかに見え 1の音機に立つているといわれ	みんな 22 町るい社の力で、22 町の力で、22 町のした会を用ったうご干」日までの一 カ月間、装着者の主唱によら全 国的に社会を明るくする運動が 実施されます。終戦参素市した	傳染病病 夏の伝報の読むないで、厚して 生育では、伝報におらるこのというな うの温間として無有になったので、厚して 生まっにするために、次のような などうにするために、次のような などうにするために、次のような
	◆このためには、先手犯罪の起う やすい理想を良くするようにあ んな泣気方式するとと応大切です す	中国のい社會をつくりましよう 日までの一 特に兇悪犯、担暴犯の素増、 青日までの一 特に兇悪犯、担暴犯の素増、 青日までの一 特に兇悪犯、担暴犯の素増、 青日までの一 にか毎日のと言が明るく本して にか毎日の生言が明るく楽しく	たまです。 やスライド・ やスライド・ たなう学生は、すでに示頼その他 着、ペラチンス」名、漫社裏での他 着、ペラチンス」名、漫社裏での他 着で、テフテリナニ名の計二十三名の計二十三名の 行す。
みつ一流の人々に接して下さい。 両人の万も、農業にたすざわる方 も、青年冬、主都の皆さんも御一 着にお申込み下さるよう希望いた します。 美師 右月二六日(火) 日本はとうたるか、どうかるか 見本はとうたるか、どうかるか 人月一日(木)		が、又あやまちをおかした人々 をあたたかい心で守り、励まし 希望と自覚を長たすて、善良な 社会人に更生さすることが必要 です。これらの人々は社会にお いて更生の追がひらかれないか ぎり更に犯罪を重ねる危険性を もち、かつ犯罪性を社会に伝播	北日国御 會次 東京 東京 大学での 大学で 大学で 大学で 大学で 大学で 大学で 大学で 大学で
圖書館の自動車文庫 7月の巡回豫定 市立図書館では、いよいよ今月からお待ち 地の自動車文庫の巡回を始めます。巡回は ごの職に通つて駐車します。第1駐車裏は午 9時、次次10時、11時、13時、14時、15時で、各	府住で火曜 「日から六回 音(死) 「言(死) 「言(死) 「言(死) 「言(死) 「言(死) 「言(死) 「言(死) 「言(死) 「言(死) 「言(死) 「言(死) 「言(死) 「言(死) 「言(死) 「言(死) 「言(死)」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「	する方それのあるものでありま す。したがつて犯罪を防いで、 社会の治安を維持するためには 犯罪有を真に社会の一員として 更生言ず、再犯ならびに犯罪伝 活の憂いを除き去ることが必要 です。	(旦上何れる上腰四十分まで、重天 の場合は由止) の場合は由止) の場合は由止) でで、 ただくために、 とがらを、皆さんに是非とも知つ ていただくために、 七三日の間に、 全市域にわたり役 世気音気気気にます。 スライド上映 この期間 ライド」を、上際いたします。
the state of the second st		唱により屋開される「社会を明 るくする運動」は右の趣旨を広 く、地域の指さんに運際して頂 き国の行う更生保護の仕事に御 時るくしようとする愛の国民運 動でありますから、指さんがぜ ひ御座力下さい。,	食品販費店の (金融) (金融) (金融) (本市内の食品販売の) (本市内の食品販売店の (本市内の食品販売店の (本市内の食品販売店の (本市内の食品販売店の (本市内の食品販売店の (本市内の食品販売店の (本市内の (本市内の (本市内の (本市内の (本市内) (本市市) (本市) (
 ■調美50分間顧単して貢出しを行います。 (図書館) 3日 公田11、公田12、積手、龍門、阿肉宿、 差%。 4日 矢島、糯光路、新堀、下阿内、方丸、藿 丸。 5日 房丸、宮地、下佐鳥、後閉、下朝倉、上 約合。 8日 ヌデ鳥、上佐鳥、上上磯、女屋、東上野 9日 天川大鳴厚観、同住宅、同本村、野中、 上大鳴。 14日 三俣41、三俣42、差線、上沖、下沖。 12日 西片貝、東片貝、上泉本、上泉B、龜泉 15日 魯泉、颯之下、堤、上江木、下江木、石 15日 魯泉、颯之下、堤、上江木、下江木、石 16日 小神明、勝沢、嶺、小坂子、鳥取、五代 17日 北代田、下小田、青柳、龍藍寺、上細井 18日 上小出、荒牧、川厚、関根、田口。 22日 巣鳥、鶴治、大屋敷、葉鳥。 23日 立石、高井、植野、新井。 24日 青梨子、同前厚、活野、池端、上青梨子 25日 上石倉、中石倉、下石倉、元鑑社94、同 26日 大変、大友、鳥羽96、鳥羽97、古市01、 古市02。 20日 紅田、箱田、前着田、川曲、上新田、小 相木。 	 ・一日までの間に出生し ・ ・ 		ホスターを実呈し、この中で優秀 ホスターを実呈し、この中で優秀 市長質(一点)、前檣保健所長質 前欄雪画際生態会長質(名一点) の計三点に复訳並びに記念品を差上 はよう。なおとして、記念品を差上 はよう。なおとして、記念品を差上 はまう。なおとします。 悪正し、一般に公開いたします。 原語し、一般に公開いたします。 原語し、一般に公開いたします。 原語し、一般に公開いたします。 原語し、一般に公開いたします。 原語し、一般に公開いたします。 「た道間中「みんなニュニュー上本に 手流」の範囲幕を抱示します。 (社会記宿生涯)
22日 巢島、鍛活、大屋敷、粟島。 23日 立石、高井、植野、蔚井。 24日 青梨子、同前厚、清野、池端、上青梨子 25日 上石倉、中石倉、下石倉、元總社94、同 95、同92。 26日 大齊、大友、鳥羽96、鳥羽97、古市01、 古市02。 30日 江田、箱田、訪着田、川曲、上新田、小 相木。	コードーの一日です。 この一日です。 この一日です。 この一日です。 この一日です。 この一日です。 この一日です。 この一日です。 この一日です。 この一日です。 この一日です。 この一日です。 この一日です。 この一日です。 この一日です。 この一日で、この一日で、 この一一一一一一一一一で、 この一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	と第6篇の君と島も思わとのもの気目干1星巻回で着行委員會前橋支部を設立ぞって御協力下さい	あぶない タ家みは笑 ない した。これからを悪いたのますが、こ した。これからを悪いたのますが、こ した。これからを悪いたのますが、こ した。これからを悪いたのますが、こ した。これからを悪いたい した。これからを悪いたいますが、こ した。これからを悪いたい した。 ない した。これからを悪いたい した。 ない した。 した。 ない した。 した。 した。 した。 した。 した。 した。 した。
向五日 回二千六县岩泙小宗校 同一日 同三千六县岩泙小宗校 同一日 同三千日 天川小宗校 同一日 同三千日 天川小宗校 同一日 同三千日 天川小宗校 同一日 同三千日 天川小宗校 同一日 同三千日 天川小宗校	 したので、第三回尾水橋 したので、同美行委員会では屋水橋 へ下方四即ち尼民一人一円を目標 のるため同一下九日市役所で同業 うることにならましたので、市民 うることにならましたので、市民 でに出生したもの、追加奈安 「目から三十一年四月三下日 「三丁二日 橋井小学校 同四日 同二千五日市川小学校 同四日 同二千五日市川小学校 同四日 同二千五日市川小学校 	通動に 「「「「「「「「「」」」 「「「」」」 「「」」 「」」 「」」	
秋秋雨雨雨焼秋、 山南では恒柳の雪の星光 大電影会を去る四月間 大電影会を去る四月間 大電影会を去る四月間 大電影会を去る四月間 大電影会をまる西日間 、生央語	追下的知知四回又	でからしつも気を配つデ からいつも気を配つデ 震変の指す のが、初秋を知に対 のが、初秋を知に対 のが、初秋を知に対	

